

# Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MFD959

取付・取扱説明書

**AutoExe**  
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

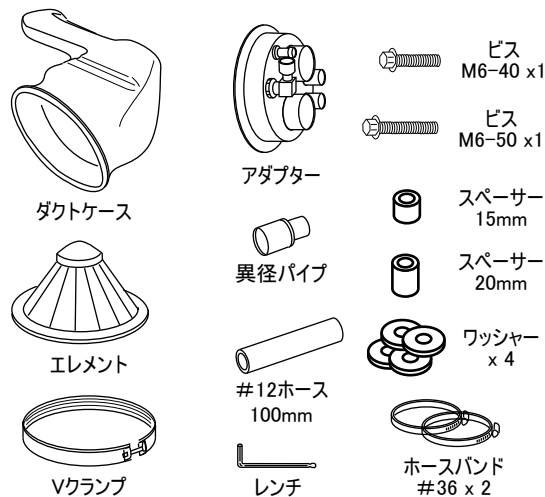
〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8  
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輻に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

## 適合車種：RX-7 (FD3S) 全車

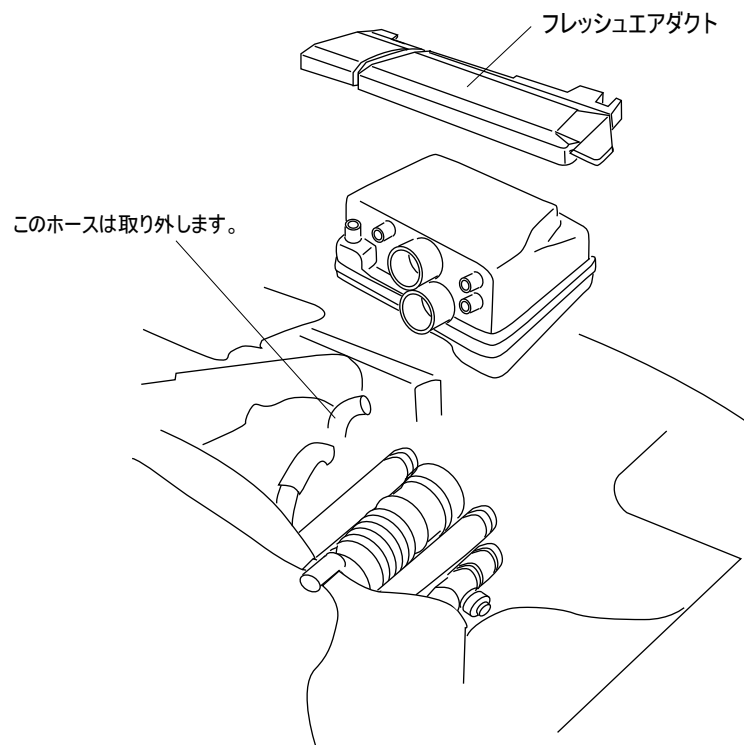
- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ㈱発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

## PARTS LIST



## ノーマルクリーナーの取り外し

- 1: フレッシュエアダクトをビス2本外し、ノーマルクリーナーケースを取り外します。



## ラムエアインテークシステムの取り付け

### 注意

本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、ダクトケースとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されております。以上の事から車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は付属のクッションテープを干渉箇所に貼付するか、ボンネットの高さ調整を行ってください。

- 1: 付属ホースに異径パイプを取付け、アダプターのニップルにホースを取付けます。
- 2: ノーマルのエアポンプホースを先端から100mmカットします。(下図参照)
- 3: アダプターASSYをインテークホース及び各ホースに差し込みます。インテークホースは付属バンド、その他ホースはノーマルバンドを使用します。その際アダプターASSYの位置は純正エアクリーナーボックスと同様にインテークホースが車輻に対し垂直になる位置でホースバンドを固定します。これを怠りますと、エアポンプホースがプーリーと干渉する恐れがあります。

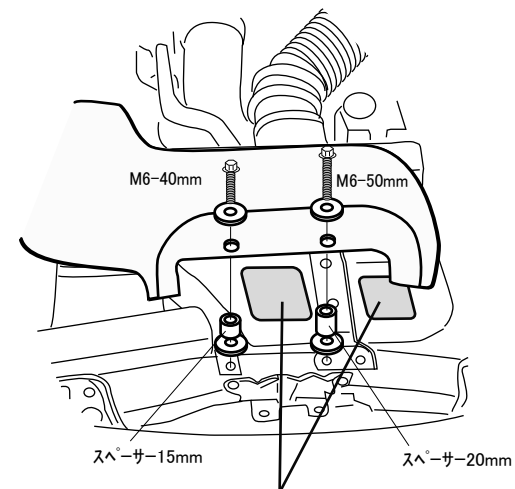
L型ニップルはホースの角度に合わせてからロックします。(下右図参照)

- 4: アダプターにエレメントを挟みダクトケースをVクランプで止めます。

注意: ボンネットとの干渉を防ぐ為、Vクランプ固定ボルトの位置はダクトケースの側面にして下さい。

- 5: ダクトケースの先端を付属ビス、ワッシャー、スペーサーを使用してボディに固定します。

※装着後、定期的な各部増し締め点検を必ず行って下さい。



※ノーマルのエア導入口がインタークーラー前にある車両はテープ等でふさぐと冷却効率が向上します。

